



1 ジュリアオさんが福島県で働くことに

嬉しいニュースがあります。同期の合気道隊員を通して知り合った東ティモール人のジュリアオさんが福島県のJICA二本松訓練所で働くことになりました。ジュリアオさんは現地語であるテトゥン語のほかに英語、インドネシア語、スペイン語、そして日本語を話すことができ、訓練所では東ティモール派遣予定者に対し、テトゥン語を教える予定です。

もし、日本文化に携われるイベントやジュリアオさんの大好きな合気道を紹介できる方は是非ご連絡ください。4月から福島県二本松市に住む予定です。



合気道の先生と
ジュリアオさん

2 配属先の活動「竹かご作り」

先月はTimor AIDと呼ばれるグループでの活動が中心でしたが、今月は日本で作った竹細工を職場の作業場で作るのがメインでした。いまいち、職場が自分の何を求めているのか、うまくコミュニケーションが取れていないように感じています。



作成した六ツ目かごと、同僚が竹を編む様子

作成した竹かごは、珍しかったようで同僚からは好評でした。こちらで竹は椅子や机、家などでは使われていますが、小物入れや花器などの用途では使われていないからです。ぜひ学校で教えて欲しいと言われましたが、ナタや小刀など怪我に繋がる道具を使うことから、同僚と数人で学校に教えに行くこと計画しています。

その準備として、同僚とかご作りを一緒に作り始めました。中々細かい

内容が伝えられず、コミュニケーションの難しさを感じています。語学の勉強もまだまだ足りないようです。それでも一緒に作成を続けると同僚との距離も縮まり、活動も楽しくなってきました。相手の土俵で相手に合わせて仕事することも大切だと思いました。

3 特集『日々の闘いベスト3』

東ティモールに来て5ヶ月が経ちました。特集として私が東ティモールで、日常生活で闘っている相手のベスト3をまとめてみました。

第3位 強い日差し

現地の方は肌が黒いことを気にしており、赴任当初は肌が白くていいねって言われていましたが、最近は同じだと言われます。肌の色なんて気にしていなかったのですが、羨ましがっている側は気にしているようです。

そういう私は赴任当初は半袖で行動していましたが、猛烈な痛みを伴う日焼けを味わったのを境に、今では長袖にサングラスの完全防備です。



洗濯物もすぐ乾く

第2位 自転車

現地の子どもが乗る自転車にはブレーキがついていない場合が多く、後ろ足を巧みに操りサンダルの裏でタイヤにブレーキをかけます。

私の自転車にはもちろんブレーキはついていますが、自転車のパンクやネジの緩み、ペダルが外れたりと頻繁に起こる自転車の欠陥によるタイムロスに悩まされています。先週は3回のパンクです。自転車屋さんまでが押していくのがまた大変です。



故障が多い

第1位 食事



見るからに少し赤みがあるが、

現地の方と一緒にご飯食べに行くとき、なるべく残さないようにしていますが、そういうときに限って生野菜や火が通ってない赤みのある鶏肉などが出てきます。そういう時は「勝負だ！」と腹を括って残さず食べますが、この戦いにはよく負けており、翌日よくお腹を壊しています。

4 日本から来た学生と交流

日本からHaLuzという学生の支援団体が来ていて、現地の学生と環境についての交流ということで、現地になくさん生えている竹を使ってかご作り、流しそうめんをしました。流しそうめんでは、みんなで箸も作り異文化交流につながりました。現地の学生は初めての箸に大喜びでした。《第5号終わり》



流しそうめんと箸づくり